

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成22年1月28日(2010.1.28)

【公開番号】特開2007-291360(P2007-291360A)

【公開日】平成19年11月8日(2007.11.8)

【年通号数】公開・登録公報2007-043

【出願番号】特願2007-76787(P2007-76787)

【国際特許分類】

C 0 9 D 11/02 (2006.01)

C 0 9 D 11/08 (2006.01)

C 0 9 D 11/10 (2006.01)

【F I】

C 0 9 D 11/02

C 0 9 D 11/08

C 0 9 D 11/10

【手続補正書】

【提出日】平成21年12月9日(2009.12.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

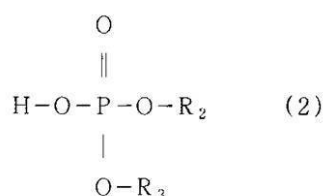
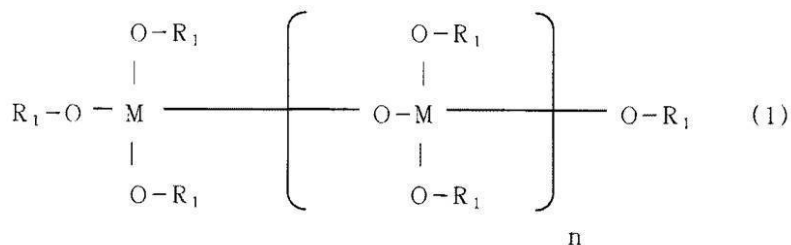
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

顔料、バインダー樹脂、金属含有架橋剤および有機溶剤から主として構成されるグラビア印刷インキ組成物において、前記金属含有架橋剤が、以下の一般式(1)で表される有機金属化合物の少なくとも1種と、一般式(2)で表されるリン酸エステルの少なくとも1種と、一分子中に(-CON<)で表される原子団とカルボキシル基とを含有する化合物(3)とを、(1)：{(2)+(3)}のモル比率が1：(2n+1)～1：3(2n+1)となる割合で反応させた反応物であることを特徴とするグラビア印刷インキ組成物。

【化1】



ここで、Mは、Ti、Zrのいずれかの金属原子、 R_1 はそれぞれ独立に、炭素数が2から20の脂肪族炭化水素基または炭素数2から20の脂肪族アシル基またはジケトン、 R_2 は、炭素数が1~20の脂肪族炭化水素基または炭素数が1から20の脂肪族アシル基、 R_3 は、水素または炭素数1~20の脂肪族炭化水素基または炭素数1~20の脂肪族アシル基を表す。また、nは0~5の整数を満たす。

【請求項2】

前記バインダー樹脂として、ポリアミド樹脂および/またはセルロース誘導体を用いる請求項1記載のグラビア印刷インキ組成物。

【請求項3】

前記バインダー樹脂として、ポリウレタン樹脂および/またはセルロース誘導体を用いる請求項1記載のグラビア印刷インキ組成物。

【請求項4】

請求項1~3いずれか記載のグラビア印刷インキ組成物を基材に印刷してなる印刷物。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は溶剤型グラビア印刷インキ組成物に関し、より詳しくは優れた接着性、耐熱性、耐油性を有し、貯蔵安定性の良好な溶剤型グラビア印刷インキ組成物に関する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

すなわち本発明は、顔料、バインダー樹脂、金属含有架橋剤および有機溶剤から主として構成されるグラビア印刷インキ組成物において、前記金属含有架橋剤が、以下の一般式(1)で表される有機金属化合物の少なくとも1種と、一般式(2)で表されるリン酸エステルの少なくとも1種と、一分子中に(-CON<)で表される原子団とカルボキシル基とを含有する化合物(3)とを、(1):{(2)+(3)}のモル比率が1:(2n+1)~1:3(2n+1)となる割合で反応させた反応物であることを特徴とするグラビア印刷インキ組成物に関する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

また本発明は、前記バインダー樹脂として、ポリアミド樹脂および/またはセルロース誘導体を用いるグラビア印刷インキ組成物に関する。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

また本発明は、前記バインダー樹脂として、ポリウレタン樹脂を用いるグラビア印刷インキ組成物に関する。